

児童生徒の発信力強化のための 英語指導力向上事業

湖西市立岡崎中学校

学校教育目標

With DREAMS
With FRIENDS
With PRIDE

目指す生徒の姿

- ・ 自分の夢に向かって主体的に活動に取り組み、学びを実感できる生徒
- ・ 自他を大切にし、共に生活の向上を目指すことのできる生徒
- ・ 自己の成長を実感し、岡中生徒であることを誇りに思える生徒

研究主題

「自らの学びを生かし、共に学び合う生徒の育成」
～発信力の向上を目指して～

話し合いの場面で自分の考えを
伝え、互いに比較したり新たな
考えを共に創り上げたりする

今年度の方向性

これからの時代に求められる資質・能力を身につけるために、**学び合い活動**を通して

- ・ **「思考力，判断力，表現力等」**に注目する。
- ・ **「自分の考えを伝える」**ことに重点を置く。
- ・ **「発信力」**をキーワードとして取り組む。



「知識及び技能」 「**学びに向かう力，人間性等**」
も関連して高まる

岡崎中の発信力とは

特に「**自分の考えを伝える**」ことに
重点を置き、
ただ**一方的に押し付ける**のではなく、
周りの意見も聞きながら、
自分の意見を伝え、
しっかりと理解してもらおうこと。

各教科の「発信力」の捉え方

音楽	美術	保健体育	技術・家庭	知的・自閉・情緒
<p>音や音楽について知覚・感受したことを基盤として自分の表現したいイメージに合うように根拠をもって音や言葉などを選択したり、組み合わせたりして演奏表現や作品をつくることができる。</p>	<p>絵画デザインなどの造形活動に取り組むことで感じたことや作品に対しての思いを表現する。</p>	<p>自分や友人の課題に気づき、考えたことを言葉や動作等で表したり、根拠を持って友人や教師などに伝えることができる。</p>	<p>生活課題を解決するために経験、実習、観察・実験の結果等から考察したことを根拠や理由を明確して説明、発表することができる。</p>	<p>自分のやるべきことに責任を持って取り組む中で、友達と共に協働して課題に取り組む。身の回りのことや、将来のことに対して、自分で選択したり、決定したりすること。</p>

各教科の「発信力」の捉え方

国語	社会	数学	理科	英語
意見を交わし合う対話や文章の読み取りの中から生まれた自分の考えや思いを、目的・相手・状況に合わせて、文章や言葉で正確に伝えることができる。	社会的事象や学習課題について資料や統計を読み取り、自分の考えを言葉や文章にあらわして相手に伝えることができる。	課題の解決のための過程や根拠を、友達や教師に筋道立てて簡潔明瞭に伝えることができる。	自然の事物・現象について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果から規則性や関係性を見だし、教師や仲間に伝えることができる。	伝えたいことを相手の立場に立って分かりやすく伝える力 (発信：話す書く)

英語科の重点項目

伝えたいことを相手の立場になって分かりやすく伝える力 = **発信力**の育成

本研修における英語科がめざす生徒の姿

「**話すこと（やりとり）**」を軸に生徒が**生き生きと自分の思いや考えを分かりやすく伝える。**

発信力強化のための手立て

(1) 場面の設定の工夫

英語を使う「必要感」を感じられる場の
設定の工夫

(2) 相手を意識した対面のコミュニケーション

特に誰に対してか (例) ALT, 地域の人

実践授業から(第3学年)

○本時の目標

互いの知らない一面を知るために、ずっとほしいものや好きでいるものや続けているものを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

○学習課題

自分や相手がずっと好きでいるものや続けていることについて互いに伝え合おう。

○本時の目標達成の手立て

生徒は事前に質問を用意せず、質問が書かれたヒントカードを使って会話をする。

①ウォーミングアップ（連想ゲーム）

Storm (あらし)のイメージを英語で伝え、何を表しているかを当てた。



連想ゲーム「Guess what!」の様子

②言語材料の導入（カード交換）



カードを使ってやりとりをしている生徒の様子

③本時のメインの活動（伝え合う）

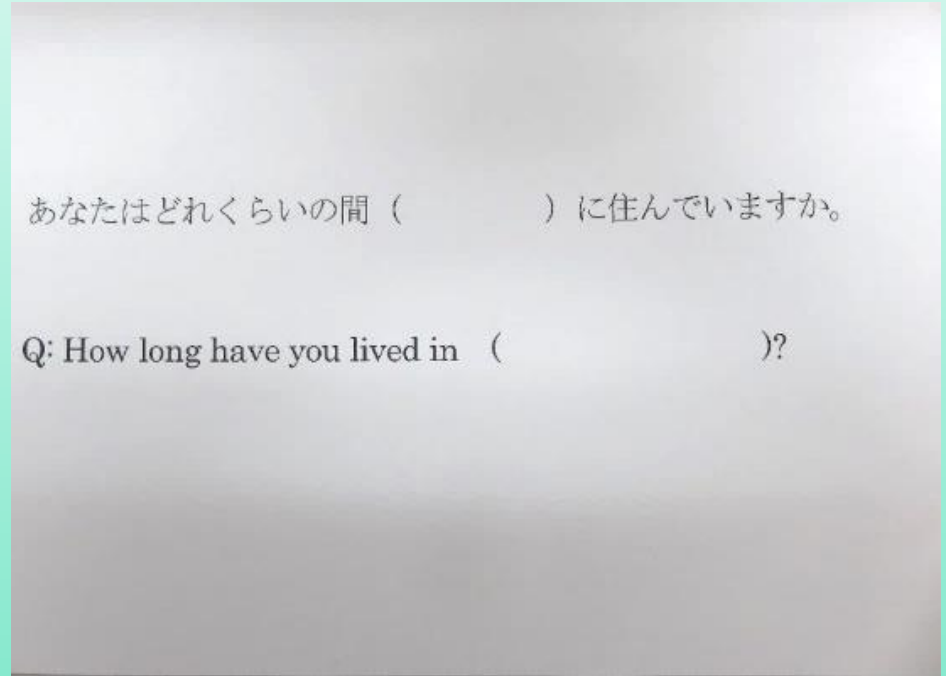


①質問例	
A	あなたはいつから〇〇〇〇のファンですか。
B	あなたはいつから〇〇〇〇を欲しいと思っていますか。
C	あなたはどれくらいの間〇〇〇〇の練習を続けていますか。
D	あなたはどれくらいの間〇〇〇〇に住んでいますか。
E	あなたはどのようにして〇〇〇〇を知ったのですか。
F	あなたの好きな〇〇〇〇は何・誰ですか。
G	あなたは週に何回〇〇〇〇を練習していますか。
H	あなたはなぜ〇〇〇〇が好きなのですか。
I	あなたは〇〇〇〇することが好きですか。
J	〇〇〇〇の好きなところはなんですか。
K	どのようにして〇〇〇〇を手に入れることができますか。

E	あなたはどのようにして〇〇〇〇を知ったのですか。
F	あなたの好きな〇〇〇〇は何・誰ですか。
G	あなたは週に何回〇〇〇〇を練習していますか。

会話をつなげるための質問例

④本時のメインの活動（伝え合う）



ヒントカードなどを教室の周辺に掲示。

⑤授業を振り返って（事後協議会）

- ・ やり取りの必然性
- ・ 単元の目的や単元をつらぬく課題の設定
- ・ 意外性、生徒が自ら知りたくなるような話題やテーマ
- ・ 自然な会話の流れ、型にはめないおもしろさを追求
- ・ 会話を続けることよりも内容や質の向上

Unit2 Scene2 Date: _____

Class () No. () Name ()

【問い】 クラスの友だちが知っていることでもあったことを英語で書きましょう。【思考・判断・表現】

Ex) Taro has wanted new shoes since last year.

【振り返り】 本時の授業を振り返り、下の各項目について自分の達成度を1～5から選び、数字に○を記入しましょう。

① 1人3回以上の会話が続けられた。 (1 · 2 · 3 · 4 · 5)

② 相手に自分のことを伝えることができた。 (1 · 2 · 3 · 4 · 5)

③ 相手のことについて質問することができた。 (1 · 2 · 3 · 4 · 5)

振り返りカード

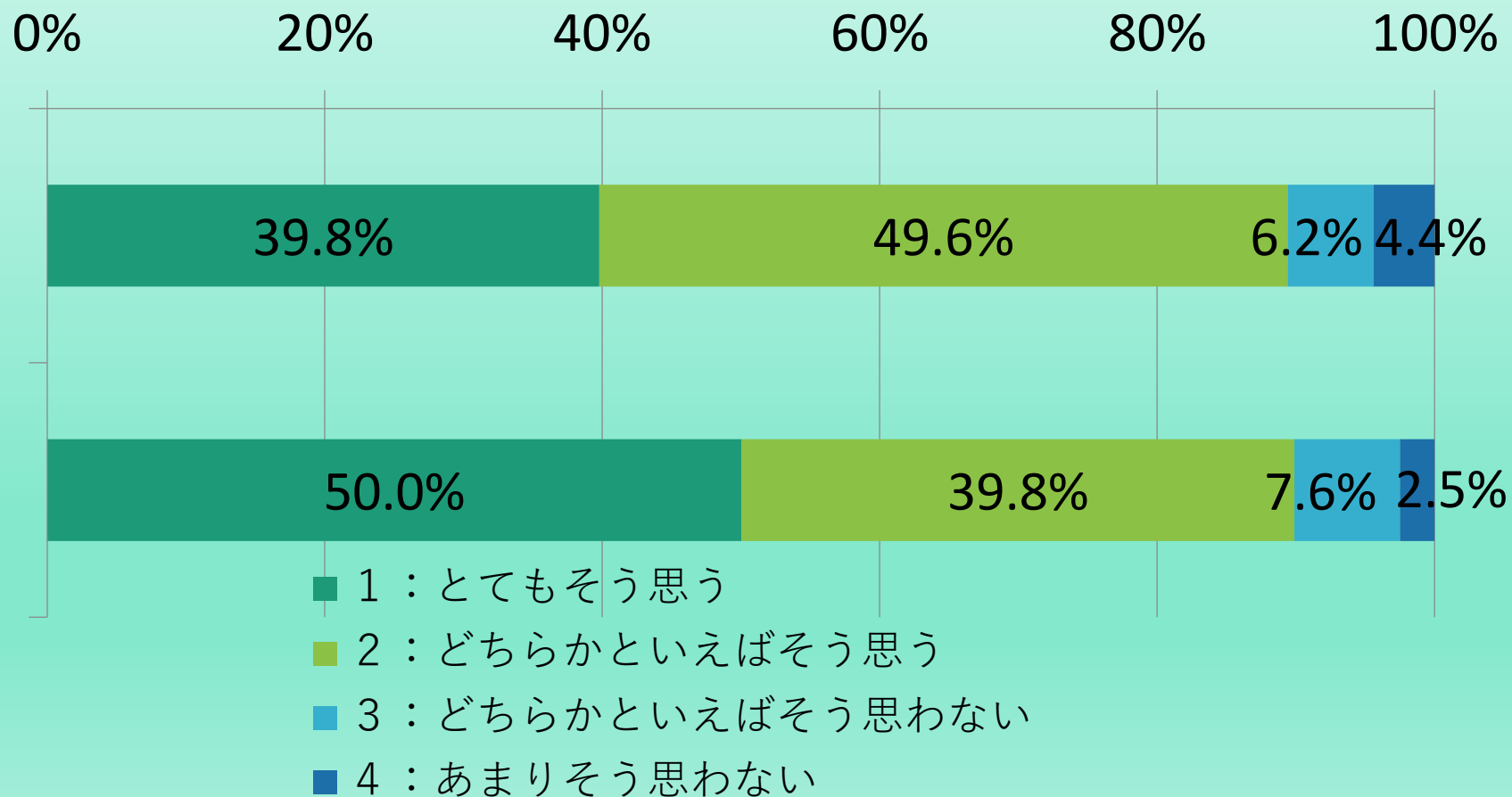
⑥ 今後の課題

（「発信力」強化のための視点）

- ・ 子どもの不安感を取り除き、
「分かった！」を実感できる活動
- ・ インプットした言語材料を会話で
アウトプットする場面の設定
- ・ 会話で使える言語材料の定着

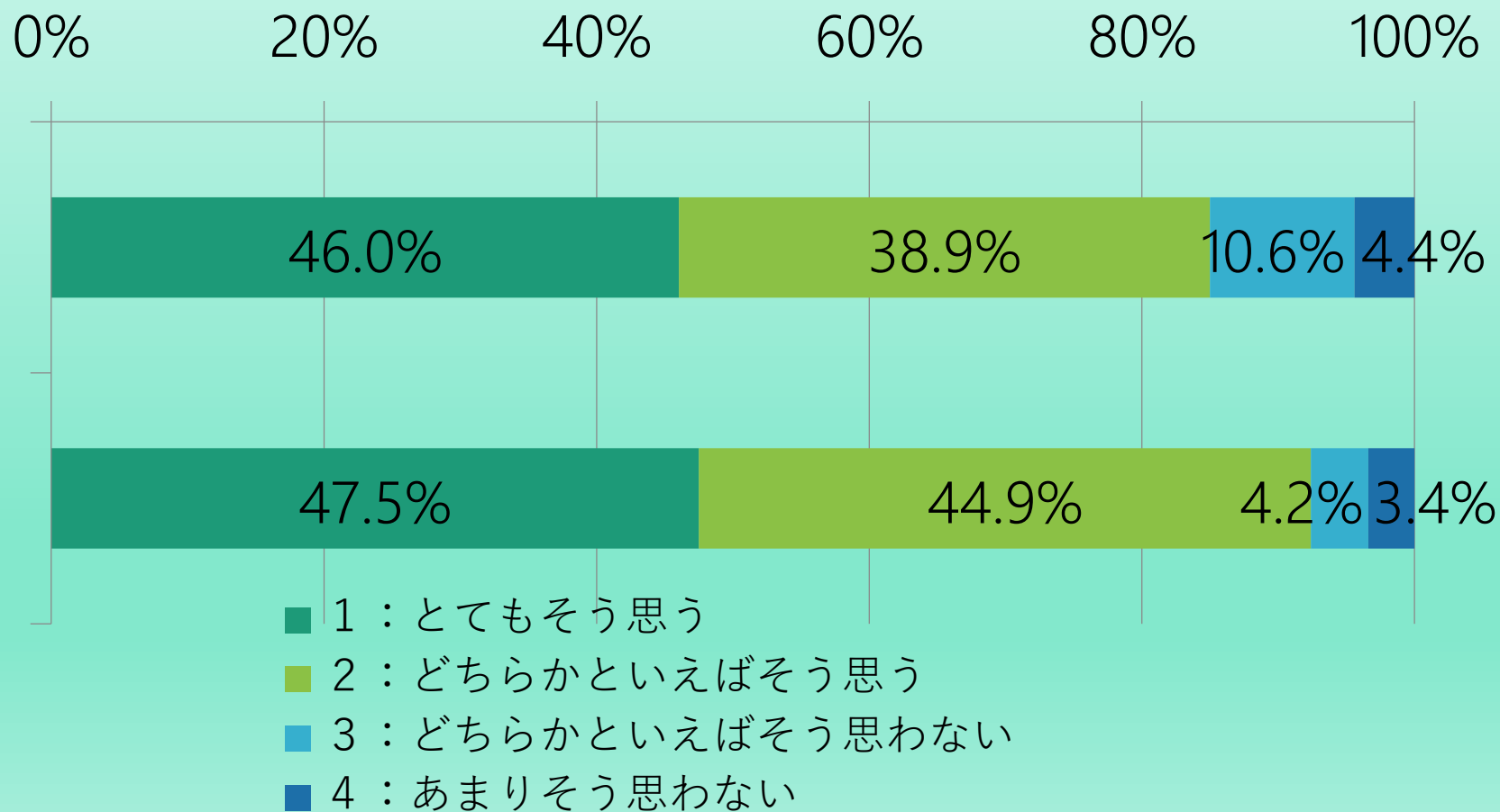
外国語教育に関するアンケート調査

【設問④】友達の英語での発話を聞いて、情報や考え、気持ちなどを理解しようとしている。



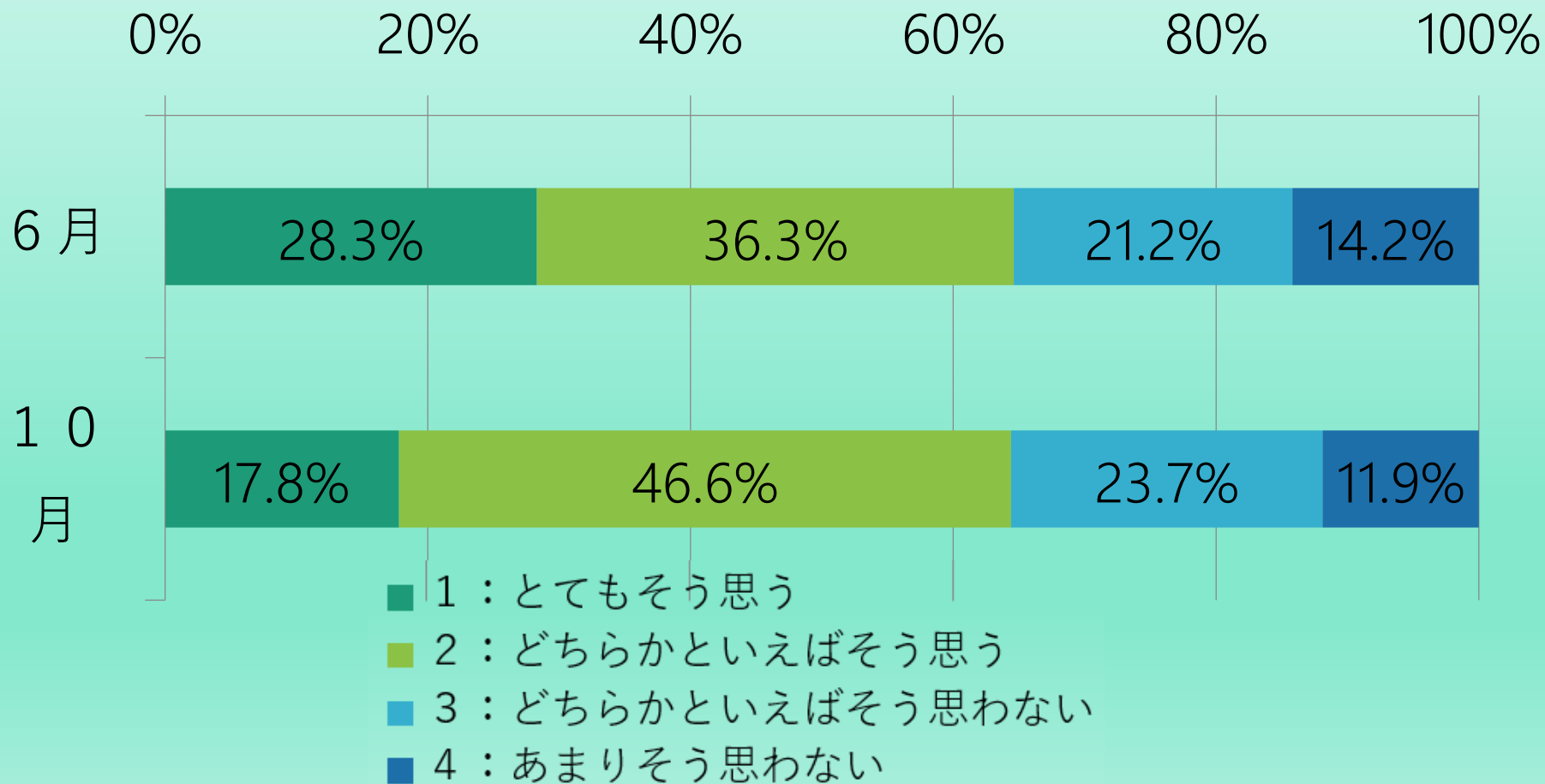
外国語教育に関するアンケート調査

【設問⑥】授業中に友達と一緒に言う言語活動に興味を持って取り組んでいる。



外国語教育に関するアンケート調査

【設問②】新しく得た知識を活用して、友達と英語でやり取りする場面がある。



実践授業の課題

- (1) 必要感のある言語活動、題材設定と場面設定**
- (2) CAN-DOリストの見直し**

小中連携に向けて

- (1) 小学生が中学生の英語授業をビデオ等で観る。
- (2) 小学生が中学生のスピーチコンテストの様子をビデオで観る。
- (3) 小学校で使っている外国語ファイルを中学校にも持ち上げる。
- (4) 岡小中バージョンの外国語ファイルを作る。

課題解決に向けて

- (1) アンケートの結果をうけて、必要感のある言語活動、題材・場面設定をより多く盛り込んでいく。
- (2) 「できる」「できない」ことが生徒とともにプロセスを確認できるCAN-DOリストの作成する。